

平成26年度

社会福祉法人 富士宮市社会福祉協議会 事業報告

(1) 法人運営事業

①理事会・評議員会の開催

| 理事会 | | |
|------|----------------|--|
| 回 | 開催年月日 | 主な審議内容 |
| 第1回 | 平成26年 5月24日 | ○富士宮市社会福祉協議会長の選任 ○富士宮市社会福祉協議会顧問の同意 ○平成25年度事業報告の認定 ○平成25年度一般会計収入支出決算の認定 ○平成25年度総合福祉会館管理・経営事業特別会計収入支出決算の認定 ○指導監査における改善指導事項に対する是正・改善計画 |
| 第2回 | 平成26年 9月30日 | ○富士宮市社会福祉協議会副会長の選任 ○富士宮市社会福祉協議会補欠評議員の同意 ○平成26年度一般会計補正予算（第1号） ○平成26年度総合福祉会館管理・経営事業特別会計補正予算（第1号） ○富士宮市社会福祉協議会経理規程の改正 |
| 第3回 | 平成27年 2月24日 | ○富士宮市社会福祉協議会補欠評議員の同意 ○平成26年度一般会計補正予算（第2号） ○平成26年度総合福祉会館管理・経営事業特別会計補正予算（第2号） ○富士宮市社会福祉協議会経理規程（平成27年4月1日施行）の一部改正 |
| 第4回 | 平成27年 3月24日 | ○平成26年度一般会計補正予算（第3号） ○平成27年度事業計画 ○平成27年度一般会計予算 |
| 評議員会 | | |
| 第1回 | 平成26年 5月24日 | ○平成25年度事業報告の認定 ○平成25年度一般会計収入支出決算の認定 ○平成25年度総合福祉会館管理・経営事業特別会計収入支出決算の認定 |
| 第2回 | 平成26年 9月30日 | ○富士宮市社会福祉協議会補欠理事の同意 ○平成26年度一般会計補正予算（第1号） ○平成26年度総合福祉会館管理・経営事業特別会計補正予算（第1号） |
| 第3回 | 平成27年 2月24日 | ○平成26年度一般会計補正予算（第2号） ○平成26年度総合福祉会館管理・経営事業特別会計補正予算（第2号） |
| 第4回 | 平成27年 3月25日 | ○平成26年度一般会計補正予算（第3号） ○平成27年度事業計画 ○平成27年度一般会計予算 |

②監査の実施

会計と業務の執行状況を監査していただきました【平成26年5月12日】

③定款・規程等の改正及び変更

社会福祉法人新会計基準に基づき、富士宮市社会福祉協議会経理規程の改正を行いました

④職員研修の実施

講師を招いての接遇研修(7月9日)、成年後見制度研修(12月9日)のほか、全社協や県社協などが主催する外部研修会への職員参加を図りました。

⑤実習生の受け入れ

これからの社会福祉を担う学生に社会福祉専門職に求められる姿勢、態度、援助技術を身につける実地教育の場を提供し、社会福祉の増進に繋がるよう指導・育成を行いました。

⑥社会福祉協議会会員加入促進

多くの市民や企業の皆様に賛同いただけるよう、日赤・社協合同大会や民生委員児童委員協議会総会でのお願いや、市内14か所の各地区社会福祉協議会総会で会員加入促進のお願いをしました。

⑦家族介護教室

実施回数 8回

在宅で要介護高齢者を介護している方や介護方法に関心のある高齢者等を対象に、家族の負担軽減を目的として開催しました。また、増加する男性介護者を配慮し、男性の方も参加しやすい教室を実施しました。

- ・介護保険の利用申請の方法
- ・認知症の早期発見と最近の治療方法
- ・いつもの食事をアレンジしての介護食作り
- ・相続 遺言の基礎
- ・お食事お届けサービスを学ぶ
- ・福祉用具の活用 腰痛予防と介護負担の軽減
- ・赤十字健康生活支援講習
- ・赤十字災害時高齢者支援講習

⑧介護予防教室

実施回数 17回

受託契約に基づき、地域における高齢者の介護予防に関する知識の普及啓発を行いました。

【健康体操、歩き方教室、ピラティス、健康栄養指導や脳トレ、熱中症予防、認知症予防等の講話】

⑨富士宮市社会福祉協議会経営改善計画の推進

経営の安定化と、職場環境の改善に取り組みました。

⑩消防訓練の実施

万一の火災や地震に備えて、年2回の訓練を行いました。

1回目：12月18日：消防への通信訓練、消火栓の使い方、避難はしごの使い方

2回目：3月6日：福祉会館の避難誘導訓練、消火器を使った消火訓練

⑪生活困窮者自立支援事業

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施し、地域における自立・就労支援等の体制を構築することを目的として本事業に取り組みました。

自立相談支援員2人、家計相談支援員1人を専任配置し、行政と連携協働しながら、平成27年4月の本格実施に向けて生活困窮者の自立支援に取り組みました。

●自立相談支援モデル事業【必須事業】

相談者の課題把握、支援計画を含む包括的な支援、地域のネットワークづくり等を実施。

■自立相談支援事業相談実人数 137人

■自立相談支援事業支援延件数 760件

家計相談支援事業へつないだ件数 12件

就労準備支援事業へつないだ件数 18件

●家計相談支援モデル事業【任意事業】

家計収支全体の改善のため、家計管理に関する指導、貸付けのあっせん等を実施

■家計相談支援事業相談延支援件数 213件

(2) 企画広報事業

①広報紙発行事業

広報紙「明るいまち」の発行により、本会事業とその他福祉の情報提供を行い、地域福祉の推進を図りました。

配布先：全戸配布 発行回数：年4回（4. 7. 10. 1月）

②ホームページの有効活用

ホームページを有効に活用し、講座や募集などの情報発信を行いました。

③日赤社協合同大会開催

日赤・社協の事業を周知し、両事業への理解と協力を呼びかけました。

対象：区長・町内会長

実施：6月29日（日）

④表彰・感謝状の贈呈

規定に基づき、社会福祉功労者や協力者への表彰・感謝状の贈呈を行いました。

- ・富士宮市社会福祉協議会会長表彰 24名
- ・富士宮市社会福祉協議会会長感謝状 13名
- ・日本赤十字社感謝状 2名
- ・静岡県共同募金会感謝状 2名

(3) 地域福祉推進事業

①地区社協活動事業

●地区社協リーダー会議

地区社協会長企画委員長会議

日時、会場：3月17日（火）13:30～ 総合福祉会館第1会議室

内 容：各地区社協からの現況報告

参 加 者：市内地区社協会長、企画委員長 計28人

●地区社協促進事業

地区社協助成金の交付：市内14地区社協へ事業費、運営費の助成を行いました。 助成総額8,090,000円

②地域福祉推進事業

●第7期 福祉のまちづくりサポーター養成講座

日時、会場： 9月28日（日）、10月12日（日）13:30～ : 富士根北公民館

12月 7日（日）、12月14日（日）13:30～ : 芝川公民館

講 師：郡山女子大学 専任講師 渡邊 英勝 氏（両会場とも）

修 了 者：富士根北会場10人、芝川会場11人

●福祉のまちづくりサポーターフォローアップ研修会【参加者 62 人】

日時、会場： 1月24日(土) 10:00～ 総合福祉会館

基調講話：福祉のまちづくりサポーターの役割を改めて考える

講師：郡山女子大学 専任講師 渡邊 英勝 氏

テーマ：児童虐待の現状から

第Ⅰ部 テーマ：児童 ～今地域で起きていることから、地域と専門職による連携の必要性を考える～

講師：静岡県富士児童相談所 相談課長 鈴木 啓一 氏

第Ⅱ部 テーマ：まちづくりサポーターとして地域福祉実践に取り組む

講師：根ねっこサロン 代表 鈴木 祥子 氏(第4期、第5期サポーター認定者)

第Ⅲ部 テーマ：これからのまちづくりサポーターに期待すること

講師：郡山女子大学 専任講師 渡邊 英勝 氏

●地域福祉ネットワーク活動支援事業

・連携会議：富士根南 12 回、芝川 12 回、上井出 10 回、大宮西地区 3 回実施

・出前地域ケア会議：富士根南地区で実施

・地域福祉実践セミナーの開催【参加者 95 人】

日時、会場：2月7日(土) 13:30～ 総合福祉会館第1会議室

第Ⅰ部 「連携・協働で進める地域福祉の展開」

講師：静岡福祉大学社会福祉学部 教授 西尾敦史 氏

第Ⅱ部 「ひとりの住民をみんなで支える ～あったか家族のつどいから～」

富丘地区社会福祉協議会 高木陽子氏

第Ⅲ部 シンポジウム 「今考える！地域の実践力！～失敗したっていいじゃない～」

コーディネーター：郡山女子大学 専任講師 渡邊英勝 氏

鼎 談 者：静岡福祉大学教授 西尾敦史氏

あったか家族のつどい部 高木陽子氏、山口功枝氏

③地域寄り合い処事業

地域で暮らす全ての方が、同じ地域に暮らす住民として交流を図り、共に支えあう関係づくりを進めるための居場所づくりを進めてまいりました。また、その充実を図るため、運営支援やスタッフ支援を積極的に行いました。さらに、新規開設に向けた出前講座(説明会)も行いました。

[実績] 延べ年間利用人数 約 30,000 人 総開所数：113ヶ所

新規開設：3か所 明光台区・根原区・上柚野区

●第1回 寄り合い処スタッフ研修会 参加人数：114人

開催日：平成 26 年 5 月 25 日(日) 9:30～11:30

場 所：富士宮市総合福祉会館 2 階 安藤記念ホール

内 容：「心と心をむすぶコミュニケーション」

講 師：コーチングアカデミー静岡校 酒井美保 氏

●第2回 寄り合い処スタッフ研修会 参加人数：133人

| 地域名 | 日 程 | 会 場 |
|---------------|----------------------|----------------|
| ①大宮西 | 11月14日(金)13:30～15:30 | 西公民館 集会室 |
| ②富丘 | 11月18日(火)13:30～15:30 | 総合福祉会館第1・2会議室 |
| ③猪之頭・上井出・北山山宮 | 11月20日(木)13:30～15:30 | 麓山の家 |
| ④大富士・大宮 | 11月25日(火)13:30～15:30 | 万野二区區民館 |
| ⑤大宮東 | 12月2日(火)13:30～15:30 | 南部公民館 ホール |
| ⑥芝川 | 12月5日(金)13:30～15:30 | 芝川公民館 1・2・3会議室 |
| ⑦富士根北・南 | 12月12日(金)13:30～15:30 | 富士根南公民館 集会室 |
| ⑧白糸・上野 | 12月17日(水)13:30～15:30 | 上野会館 小・中会議室 |

内 容：寄り合い処実践者による事例報告、ワークショップ

●寄り合い処出前講座 【参加人数：計120人】

開催地区 上柚野区・北山1区・万野2区5町内・小泉4区・人穴区・明光台区・根原区

④子育て支援事業

子育て家庭間の交流や育児支援、子育て育児不安を軽減するための機能の充実など、子育てを地域で支える環境の整備を行いました。

総開所数：15か所（内平成26年度新規開所数：1か所）

●子育て支援連絡会：4回

●子育てサロンアドバイザー連絡会：4回

●子育てサロンフェスティバル【参加人数：231人】

開催日：平成27年3月6日（金）

場 所：富士宮市総合福祉会館

協力者：子育てサロンスタッフ・サロンアドバイザー・地域ボランティア

●キラキラサロン：12回

●先進地視察研修【参加者：15人】

開催日：平成27年1月21日（水）

行き先：掛川市社協 かつらがおか なかよしサロン

⑤子育て支援センター

市受託事業として「地域子育て支援センターたち」の運営を行いました。

開所日：火～土 9:00～12:00、13:00～15:00

事業内容・子育て親子の交流の場の提供及び交流の促進

・子育てに関する相談及び援助の実施

・地域の子育てに関する情報提供

・子育て及び子育て支援に関する講習の実施（月1回以上）

開所日数：220日

利用者数：14,135人（1日平均 64.3組）

サークル利用：月2回 計16回 延べ173人

講座開催：22回 延べ1,082人参加

面接相談件数：477件

（4）福祉活動事業

①遺児並びに交通遺児援護事業

【遺 児】18歳未満で、両親が何らかの理由で亡くなられた児童・生徒に手当てを支給しました。

対 象 者：1人 支 給 額：月額3,000円

【交通遺児】18歳未満で交通事故により親を亡くした児童に対し、学資及び入学支度金を支給しました。

対 象 者：3人 支 給 額：月額3,000円

（5）福祉相談事業

①結婚相談

結婚を希望する男女の出会いの場として、月5回（第1・2水曜日・第3土曜日・第2・4日曜日）、結婚相談事業を実施し、民生委員児童委員、更生保護女性会より選出された相談員10名が、相談受付からマッチング、見合い、成立までをサポートしました。

<平成26年度実績>

結婚成立件数 3件

見合い実施件数 64件

新規登録者数 60名
 相談件数 841件 (男性 526件 女性 315件)

(6) 地域型支援センター事業

①高齢者等総合相談支援業務

地域住民、社会資源へ相談窓口としての機能周知の為にチラシの配布、地区社協行事、民生児童委員定例会等へ参画しネットワーク作りを強化し高齢者、障がい者等の相談支援を実施しました。

相談対応件数<平成27年3月31日現在> () 内前年度対応件数

電話：1,580件 (1,377) 来所：387件 (384) 訪問：816件 (803) ネットワーク活動：135件 (104)

合計 2,918件 (2,668)

(7) 障害福祉受託事業

①指定相談支援事業

障がい者などからの相談に応じ、情報の提供・障害福祉サービスの利用支援、関係機関との連携を図るとともに、サービス利用計画の作成・マネジメントを行いました。

[実績] 年間実利用人員 594人
 延べ相談件数 8,264件
 ケアプラン作成 696件
 個別ケア会議開催数 271件

②地域活動支援センターふらっと

日中の居場所としての役割を果たすと共に、日常的な相談に応じ安定した地域生活に繋がるよう支援しました。

登録利用者数 118人・活動ボランティア数 142人

年間延利用人数 5,423人

(内訳) 精神障害者 3,123人・知的障害者 1,100人
 身体障害者 820人・高次脳機能障害 181人
 発達障害 199人

公開講座3回開催 (3B体操・料理教室・陶芸教室)

四季折々の行事や、調理・お菓子作りなどを随時開催

③地域活動支援センターバンブー

日中活動の場や生産活動の支援などを行うとともに、自立と生きがいを高めるために、趣味活動の支援を行いました。また、寄り合い処や地域行事にも参加し、地域との連携を深めました。

登録者数 18人・活動ボランティア数 163人

年間延利用者数 1,567人

(8) ボランティア活動事業

①ボランティア活動促進事業

●ボランティアの相談支援・調整

市社協としてボランティア活動を希望する方の相談受付や調整を行い、ボランティアを必要とする、事業所、団体、個人に対してボランティアコーディネートを実施しました。

| | | 内訳 | 件数 ※()内は活動につながった人 |
|-------------|---------|------|--------------------|
| 利 用 実 | コーディネート | 活動希望 | 22 (11) |
| | | 活動依頼 | 14 |

| | | | |
|--|-----|------------|-----|
| | 登 録 | 団体登録 | 47 |
| | | 個人登録 | 37 |
| | その他 | 活動に関する相談 | 28 |
| | | ボランティア保険加入 | 119 |
| | | 事業所訪問 | 17 |

- ボランティア団体へ団体活動室1、2の利用を呼び掛け
- ボランティア養成講座として相談ボランティア講座の開催 【参加者：38人】
 日時、会場：3月4日（水）10:00～ 富士宮駅前交流センター
 内 容：テーマ『地域における相談活動のポイント』
 講 師：認定社会福祉士 古井 慶治氏（ふるい後見事務所）
- ボランティア連絡会への支援
 事務局として、総会や役員会、定例会、他市町交流、県ボランティア研究集会へ参加。市社協と共催でボランティアまつり「ふれあいトーク」の開催。
- ボランティア活動保険の加入促進：受付件数119件、延人数1,441人
- 災害ボランティアコーディネーター養成講座等の災害に備えた講座の開催
- 平成26年度災害ボランティアコーディネーター養成講座
 日時、会場：5月31日（土）9:30～16:00、6月1日（日）9:30～16:00
 6月8日（日）9:30～16:30 3日間とも総合福祉会館
 内 容：災害ボランティアコーディネーターと災害ボランティア本部について、
 災害ボランティア本部実習、災害時の富士宮市について 【修了者29人】
- 家具固定事業
 平成27年1月25日（日）
 経済的な理由で専門家に家具固定を依頼できない高齢者や障がいをお持ちの方の15世帯を対象に家具の固定を実施しました。

②地域福祉教育事業

- 福祉教育推進連絡会
 日時、会場：8月7日（木）10:00～ 富士宮駅前交流センター
 講 師：大森衛氏（富士宮市社協副会長）
 参加者：市内小中学校教員32人（小学校19人、中学校13人）
 内 容：各小中学校の福祉教育の現況の発表
- 学校における福祉教育プログラムの支援
 市内小学校での出張講座
 （西小6/26、7/4・富丘小7/2・貴船小10/7、10/9・大富士小10/24、10/31・東小10/2、11/6・
 富士見小11/14、11/18）
- 福祉教育実践に必要な備品の貸出（高齢者疑似体験セット、アイマスク、白杖、点字版など）
- 福祉教育に関する書籍、DVDなどの紹介、情報発信

（9）貸付事業

①応急小口資金貸付

- 貸付件数：19件
- 償還件数（年度内完済）：4件
- ★課題：当初、予算400,000円で事業を開始したところ、委託を受けて行っていた「生活困窮者自立支援モデル事業」の相談者に対する応急的貸付件数が増えたことにより資金不足となり400,000円の補正予算を組んだがその資金も年度末には使いきってしまった。

②高額療養費貸付事業

国保税滞納者等で限度額認定書の発行ができない方を対象に、当事業の申請を行いました。

貸付総数：119件 金額：20,673,096円

③生活福祉資金貸付事業

申請はすべて「緊急小口資金」で、就労が決まり初任給までのつなぎの生活費としての貸付を行いました。他の資金についての相談はあったが、貸付要件を満たさず、他の支援の利用を勧めた。

貸付件数（緊急小口資金）：9件 貸付総額：734,000円

(10) 共同募金配分金事業

●赤い羽根共同募金助成金公募 ・ホームページやローカル新聞に記事掲載

●富士宮市共同募金配分委員会を開催

・第1回目 日時：平成26年5月31日（土）9:30～ 場所：ミーティングルーム

【平成26年度県共募から社協への助成金】 単位：円

| | |
|-------------------------|-------------|
| 平成25年度共同募金からの助成 | 9,828,381円 |
| 平成25年度歳末たすけあい募金剰余金からの助成 | 1,129,077円 |
| 合 計 | 10,957,458円 |

【助成金の使途】

| | | |
|------------|--------------|-------------|
| 被災者世帯援護 | 全焼3件・半焼1件 | 70,000円 |
| 社協事業 | | |
| 低所得世帯援護 | 修学旅行・新入学援助 | 1,815,000円 |
| 結婚相談事業 | | 504,088円 |
| 移動支援事業 | | 633,873円 |
| 広報紙発行事業 | | 600,000円 |
| 災害対策本部運営事業 | | 307,458円 |
| 生活困窮者緊急食料 | | 50,000円 |
| 地区社協助成金 | 14地区 | 4,000,000円 |
| 団体助成 | 児童・高齢者・障害児者等 | 2,830,000円 |
| 合 計 | | 10,810,419円 |

・2回目 日時：平成26年11月25日（火）10:00～ 場所：ミーティングルーム

【平成26年度県共募から社協への助成金】 単位：円

| | |
|----------------------|------------|
| 平成26年度歳末たすけあい募金からの助成 | 3,038,200円 |
| 合 計 | 3,038,200円 |

【助成金の使途】

| | | |
|----------|-----------|------------|
| 援護活動事業 | 235世帯506人 | 1,993,000円 |
| 児童援護活動事業 | 6施設27人 | 135,000円 |
| 合 計 | | 2,128,000円 |

・3回目 日時：平成27年2月7日（土）10:30～ 場所：ミーティングルーム

議事：平成26年度歳末たすけあい募金助成計画（2回目）について

【助成金の使途】

| | | |
|------|--------------|----------|
| 団体助成 | 児童・高齢者・障害児者等 | 300,000円 |
| 社協事業 | 点字プリンター購入費等 | 610,200円 |
| 合 計 | | 910,200円 |

収入合計10,957,458円 - 支出合計10,810,419円=147,039円は静岡県共同募金会に返還

【その他】

- ・助成金交付式の開催
- ・はねつとによる助成結果報告
- ・静岡県共同募金会との連携

(11) 介護保険事業

①居宅介護支援事業

- 介護支援専門員業務の実施
- 居宅介護支援費の請求
- 受託業務の実施（介護予防支援・要介護認定訪問調査）
 - （要支援1・2）51件 （要介護1・2・3）280件
 - （要介護3・4・5）140件
- ・要介護認定調査 38件
 - 利用者の身体状況にあったケアプランを作成し、適切にサービスが提供できるよう事業所との連携を密にし、生活支援を実施しました

②訪問介護事業

要介護・要支援認定された方を対象に、生活援助・身体介護を実施。よりよい在宅生活が継続できるよう支援を実施しました。

利用者：

(要支援1)2人, (要支援2)7人, (要介護1)8人, (要介護2)6人, (要介護3)4人, (要介護4)2人, (要介護5)1人

延利用件数：2,903件

(12) 障害福祉サービス事業

居宅介護により障がい者の地域生活を支援するとともに、同行援護や移動支援により、安心して外出できる機会を作り出すことができました。

利用者25名（同行援護 8名 移動支援 5名含む）

延利用件数：同行援護 606件、移動支援 179件、居宅支援 2,884件

(13) 日常生活自立支援事業

●認知症・知的障害・精神障害者等であって日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手・理解・判断・意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な方に対し、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき支援を行いました。また、増加する利用者に対応するため2名の新規生活支援員を増員しました。

●関係機関への事業周知のため、事業説明を実施

●利用者の状況を確認し、必要に応じて成年後見制度への移行のための関係調整を行いました。

- ・契約者数 73件（内新規契約数13件）
- ・解約件数 7件（死亡3件・後見人へ移行2件・転居2件）
- ・実働件数 1,313件（内訳：認知症341件、知的障害387件、精神障害198件、その他387件）
- ・相談件数 2,439件（内訳：認知症872件、知的障害955件、精神障害253件、その他359件）

(14) その他事業

①福祉機器貸出事業

| 【団体貸出】※（ ）は前年度 | | |
|----------------|---------|------------|
| 物品名 | 団体数 | 貸出数 |
| 高齢者疑似体験セット | 19 (12) | 79セット (55) |
| アイマスク | 21 (18) | 280枚 (266) |
| 白杖 | 19 (14) | 210本 (120) |
| 点字練習器 | 14 (5) | 343台 (29) |
| 車いす | 27 (27) | 152台 (138) |
| 【個人貸出】※（ ）は前年度 | | |
| 車いす | — | 141台 (109) |

(15) 特別会計：総合福祉会館管理・経営事業

| |
|---|
| <p>指定管理者として市民の方が安心して利用できるよう関係法令を順守し必要に応じて委託業務等の点検・見直しを行いました。</p> <p>地域イベントへは積極的に協力し、自主事業の開催や広報、利用者からの意見反映により利用促進に努めました。</p> <p>その他、経費削減等にも取り組みました。</p> <p>【結果】 年間延べ利用者数：119,863人（会館日数：294日）</p> <p>【利用者が安心して利用できるように】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯・防災対策として防災訓練等の実施 ・法定検査等実施やビル管・清掃業務報告書による業務の見直しと必要に応じて修繕を実施 <p>【利用者の利用促進を図るため】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会、評議員会、利用報告書、利用者からの意見などを集約し、できる限り反映しました。（ホールへのベンチ設置・浴室への防水時計の設置など） ・広報誌や宮バス時刻表への施設PR活動 ・視察の受け入れ（市内の小中学校等） ・各種自主事業の実施（参加者数：264人） 太極拳・健康体操・そば打ち・紙バンド・ケーキ作り等講座の実施 |
|---|

(16) その他会計

| |
|---|
| <p>富士宮市民生委員児童委員協議会 役員会(月1回)、各種研修、全体会等の支援をおこないました</p> |
| <p>ふじさんシニアクラブ富士宮 事務局として、総会(1回/年)、常任理事会(1回/月)、理事会(2回/年)、各部会、研修会並びに各事業の支援をおこないました。</p> |
| <p>日本赤十字社富士宮市地区 罹災世帯への災害救援品の交付、献血事業の実施、地域福祉活動の実施、日赤奉仕団及び日赤有功会への支援、義援金・海外救援金の情報発信と受付業務</p> |
| <p>富士宮市共同募金委員会</p> |

共同募金（1世帯300円（内100円は歳末たすけあい募金））を実施しました